

系難燃材の開発をめざす。

8. 奄美群島林業振興調査広葉樹利用開発

ー建材及び家具部材の開発ー

(平成元年度奄美群島振興開発事業)

山角達也・遠矢良太郎・山田式典

上原守峰・米蔵 優・中村俊一

森田慎一・山之内清竜・福留重人

奄美群島は、イタジイ、イジュ等の広葉樹を中心とした豊富な森林資源を有しており、これらを利用した木材産業の振興は、奄美群島の振興を図る上で重要である。しかし、奄美群島の広葉樹は、県本土の広葉樹に比べ、台風や季節風による繊維のねじれ及び材の乾燥中の狂いや落込みが大きい。

また、それらの材が含む抽出成分により材面が汚染しやすい、虫害を受けやすい等の難点がある。このため、今日では建築用材としての利用はほとんどみられず、大島紬の織り機、土木用の杭木、梱包材以外には、チップ用材としか利用されていないのが現状である。

そこで、本調査研究は奄美の広葉樹資源の利用技術を開発し、特産工芸品や家具部材及び建材への利用化を図り、奄美群島の産業振興に寄与することを目的とし、平成元年度から3年度まで実施するものである。

平成元年度は、奄美産材について物理的性質、機械的性質などの材質試験や、単板の製造試験を行った。

2-3 共同研究

平成元年度に実施した共同研究は、次のとおりである。

研究題目	概要	共同研究の相手方	担当部室
シラス・プラスチック系多孔質複合材料の開発研究	シラス及びプラスチックを複合したものを焼結又は溶液処理することにより多孔質材料を開発する。	スペイシーケミカル株式会社	窯業部
セラミックスの加工技術とその利用に関する研究	アルミナ系セラミックスのクリープフィード研削の研究	工業技術院 九州工業技術試験所	機械金属部
ファインセラミックスの加工技術研究	炭化ケイ素系セラミックスの研削特性の実験的研究	工業技術院 中国工業技術試験所	